

報道関係者各位

Press release

**ASGグループ 「2005年度オーナー経営者の意識調査」発表
中堅・中小企業オーナー経営者、主要24カ国同時調査**

- 事業予測は回復途上
- デフレ脱却の見通しはたたず
- 日本のオーナー経営者が特にストレスを感じる上位4項目
- 中堅・中小企業が直面する問題から解決策を探る

ASGグループ（グラント・ソントン加盟事務所、以下ASG、本社：東京都千代田区、代表者：本田親彦）は、オーナー企業経営者を対象に世界同時調査を実施し、主要24カ国のオーナー経営企業6300社から回答を得て、このたび結果の分析を完了しました。オーナー経営者という切り口で、グローバルで行った意識調査としては、他に例がなくユニークなものです。この調査の結果、日本のオーナー経営者をとりまく経営環境について、以下の点が明らかになりました。

（1）結果のサマリー**● 自社の事業予測は回復途上**

向こう1年の「自社売上予測」は、**2003年(-2)** **2004年(+6)** **2005年(+27)**と回復に向かっている。

● 設備・建物投資・雇用も改善

「設備投資」は、**2003年(-8)** **2004年(+23)** **2005年(+29)**と、すでに昨年からプラスに転じている。「建物新築」も、**2003年(-2)** **2004年(+6)** **2005年(+19)**と、積極的な事業運営への取り組みが始まった。「雇用」は、**2003年(-36)** **2004年(-4)** **2005年(+16)**とプラス見通しに改善。

● デフレ脱却の見通しはたたず

売上、雇用、設備投資等で自社事業に積極的な見通しをたてる一方、「販売価格」については、**2003年(-24)** **2004年(-50)** **2005年(-25)**と暗い見通し。G7他国と大きな落差。デフレ脱却の兆しが無い。

● 低水準の収益性

「収益性」見通しは**2005年(+4)**と低い水準。

● 景況観で最悪期は脱したが、依然として悪い見通し観が強い

「景況観」で日本企業は**2005年(-27)**と、依然として大きなマイナス。

(2) 日本の中堅・中小企業が直面する問題

景況の回復にもかかわらず、国際比較すれば、日本のオーナー経営者には、悲観的見方が際立っている。これは日本のオーナー経営者が、他国とくらべ、より長期的・構造的な問題に直面していると見られる。

1. 国内需要に依存している
2. 海外展開には消極的
3. 旧来の体制から離陸できない
4. 金融機関と新たな関係は作ることが課題
5. 事業の転換に躊躇している

(3) 日本のオーナー経営者がストレスを感じる上位4項目

- 競争激化 61%
- 経済環境が事業に与える影響 52%
- 会社のキャッシュ・フローや利益率に対するプレッシャー 48%
- 技術進歩や最新技術に乗り遅れないこと 43%

(4) 直面する問題解決への展望

現在のオーナー経営企業は、経営戦略・計画の不在と、中長期的構造的な問題、世代交代のハードルなどに直面。取り巻く環境に対して大きな期待・展望を開けない状況。解決策はある。

以上

【ご参考資料】 オーナー経営者の意識調査 ー概要ー

調査期間

2004年9月1日～10月31日

調査機関

日本では、ASGグループが本調査の主体になり、日経リサーチ社に調査を委託した。調査の一貫性を保つために、各国のデータの取りまとめは、国際的な調査機関である Experian Business Strategies Limited と Wirthlin Worldwide が行った。

日本の調査対象

従業員数 20 人～499 人の日本全国の中堅・中小企業のオーナー経営者、または経営トップ。

日本の調査方法・サンプリング方法

日経リサーチ社所有の事業所データベースから、従業員数 20 人～499 人の全国の中堅・中小企業をランダムに 4000 社抽出し、郵送によるアンケート調査を実施。433 社(回答率:10.8%)の回答を得た。

分析方法

「オーナー経営者の意識調査」から得た調査結果は、ベストプラクティス分析技法を用いて報告している。本報告書では、報告事項を簡潔にまとめるため「バランス」統計手法 <DI(=Diffusion Index): 景気判断 DI「良い」との回答比率から「悪い」との回答比率を引いた指数>を本報告書では広範に用いた。

調査参加国

24 カ国

オーストラリア、カナダ、フランス、ドイツ、ギリシャ、香港、インド、アイルランド、イタリア、日本、メキシコ、オランダ、ニュージーランド、フィリピン、ポーランド、ロシア、シンガポール、南アフリカ、スペイン、スウェーデン、台湾、トルコ、英国、米国

* この調査は、スマトラ沖大地震及びインド洋津波発生前に実施されたものです。

ASG グループ (グラント・ソントン加盟事務所)

所在地：東京都千代田区永田町 2 - 14 - 3 赤坂東急ビル 12F

代表：本田親彦 (公認会計士)

グループ会社：ASG 監査法人、ASG 税理士法人、ASG マネジメント株式会社、
ASG アドバイザーズ株式会社

URL：www.gtjapan.com

ASG グループは、世界 109 カ国をネットする国際会計事務所「グラント・ソントン」の加盟事務所です。広い視野と一歩踏み込んだ独自の提案をしています。国際水準の監査の他、オーナー系企業・中堅企業への各種業務・コンサルティングサービスの提供についてはトップクラスの実績を誇ります。

「顧客との信頼関係の構築」を経営理念に、世界レベルのソリューションを提供いたします。

< ASG グループが提供する 12 事業領域 >

監査・IPO・金融分野サービス・公益法人・事業戦略・国内税務コンサルティング・海外税務
コンサルティング・評価・M&A/コーポレートファイナンス・対日/対外進出・システムコンサル
ティング

グラント・ソントン

グラント・ソントンは世界第 6 位にランクされるグローバルな会計事務所グループであり、オーナー企業および独立系企業を中心に監査、税務、その他会計コンサルティングサービスを提供しています。本拠地を米国シカゴに置き、世界 109 カ国、540 拠点、22,000 人の従業員を擁します。各グラント・ソントンの拠点は、全世界で共通の高品質なサービスの提供にコミットしており、クライアントの全世界あらゆる場所におけるビジネスの展開をサポートします。

日本では ASG グループ (ASG 監査法人、ASG 税理士法人、ASG マネジメント株式会社、ASG アドバイザーズ株式会社) が、グラント・ソントンの日本メンバーとして世界水準を導入した会計コンサルティングサービスを提供しています。

本件に対する問い合わせ先

ASG グループ マーケティングコミュニケーション担当 田代知子

T E L : 03 - 3595 - 0304 (直通) F A X : 03 - 3595 - 0395

e mail : asgMC@gtjapan.com